

## 事業事前評価表

国際協力機構 産業開発・公共政策部 法・司法チーム

### 1. 案件名

国名： ブラジル連邦共和国

案件名： (和文) 地域警察活動普及プロジェクト

(英文) Project on Nationwide Dissemination of Community Policing

### 2. 事業の背景と必要性

#### (1) 当該国における公共安全（警察）セクターの開発実績（現状）と課題

ブラジル連邦共和国（以下「ブラジル」という。）では治安の改善が社会的課題となっており、殺人、強盗、傷害などの発生数の統計的数値には改善が見られているものの、発生率は依然として高い。また、今後オリンピック等の国際イベントが控える他、本邦企業をはじめとして各国からの投資や企業進出が増加する等、ブラジル全土における治安改善・維持は重要課題となっている。

南米最大の大都市圏であるサンパウロ州の治安維持を担うサンパウロ州警察（PMESP）は、犯罪の予防が不可欠であるとし、1990年代に市民との交流及び信頼関係構築を通じた地域警察活動の導入を打ち出した。1997年からは日本の交番制度を中心とした日本式地域警察モデルの運用を開始しており、JICAはこの取り組みを支援する協力の一環として、2000年以降様々な協力を通じ、ブラジルにおける日本の地域警察活動の実践及び普及を支援してきた。

また、ブラジル国内における公共安全の改善・維持を促進するブラジル法務省国家公共保安局（SENASP）も、以下（2）で述べるような政策のもと、ブラジル全土を対象として、地域警察の導入・普及・定着を推進している。

しかし、これまでの協力を通じてブラジル国内で最も地域警察活動が進んでいるサンパウロ州においても、州内の交番毎で取り組みの質・レベルに差が見られ、またブラジル全土を見渡した場合、州によって地域警察の普及度や取り組み状況が大きく異なる等、広大なブラジル全土でこの地域警察をいかに普及・定着させるかが懸案となっている。

このような背景から、サンパウロ州における地域警察活動の質の向上や維持、他州への地域警察活動の普及・定着に向けた支援が要請された。

#### (2) 当該国における公共安全（警察）セクターの開発政策と本事業の位置づけ

2003年に定められた国家複数年度計画（PPP）の中で、SENASPは、「公共保安のための国家統一システム（SUSP）」を制定、その中で、犯罪の抑制と平和的文化の構築のために「地域警察」を導入することを定めている。

また2007年には、高い殺人率の低下を目指し、「公共保安のための住民連携国家プログラム（PRONASCI）」を開始した。同プログラムは、犯罪予防のための社会活動を中心とした94のアクションを含んでおり、①交番の建設・機材整備、②地域公共保

安委員会の機材整備、③地域警察人材の育成という、地域警察活動の導入促進に関するアクションも示されている。

本事業は、SENASP が進めるこれら地域警察に関する制度及び活動の導入・普及・定着を支援するものである。

#### (3) 公共安全（警察）セクターに対する我が国及び JICA の援助方針と実績

公共安全（警察）セクターは、我が国の対ブラジル国別援助方針において、重点分野「都市問題と環境・防災対策」に位置付けられ、都市化に伴う治安悪化の改善に貢献することが期待される。

これまで、ブラジルにおいては、2005 年 1 月～2008 年 3 月に「地域警察活動プロジェクト」、2008 年 11 月～2011 年 11 月に「交番システムに基づく地域警察活動普及プロジェクト」の 2 つの技術協力プロジェクトが実施され、サンパウロ州における地域警察活動の強化を図るとともに、同州における取り組みをモデルとして地域警察活動を他州<sup>1</sup>へ普及するための支援を実施してきた。

なお、2011 年度～2013 年度には、「交番システムに基づく地域警察活動コース」が実施され、コスタリカ、グアテマラ、ホンジュラス、エルサルバドル等がブラジル国内における研修に参加しており、ブラジル地域警察分野における技術協力の成果は重点分野「三角協力支援」にも貢献してきた。

#### (4) 他の援助機関の対応

他の援助機関が当該分野においてブラジルに対し体系的・継続的に協力してきた実績はほとんどない。

地域警察分野における直接的な支援ではないが、2009 年～2012 年まで、UNDP、UNODC、UNICEF、UNESCO、UN-HABITAT、ILO が「紛争予防と平和構築：Conflict Prevention and Peace Building (CPPB) プログラム」を実施し、PRONASCI のニーズに応えるため、参加型治安現状分析、市民の安全に関する研修実施支援、コミュニティリーダーの研修、警察との協働のためのコミュニティへの啓蒙と研修、コミュニティとの協働のための警察への啓蒙と研修、コミュニティにおける地域警察に関する手法の開発と試行等の実施を支援した。

### 3. 事業概要

#### (1) 事業目的（協力プログラムにおける位置づけを含む）

本事業は、ブラジル国内における地域警察活動の普及を促進するために、①SENASP の情報収集・管理能力や各州における地域警察の普及・強化に向けた取り組みを推進する能力の強化、②サンパウロ州警察（PMESP）、ミナスジェライス州警察（PMMG）、リオグランデスル州警察（BMRS）による地域警察活動の強化、③SENASP、サンパウロ州警察、ミナスジェライス州警察、リオグランデスル州警察の他州への効果的な

<sup>1</sup> リオデジャネイロ、リオグランデスル、エスピリトサント、ミナスジェライス、ブラジリア連邦直轄区、ゴイアス、バイア、アラゴアス、パラ、アクレ、マツグロソの 11 州。

支援実施能力の強化を通じ、ブラジル側関係機関で自立的かつ継続的に地域警察活動を普及する体制を構築し、もってブラジルの状況に適した地域警察活動の国内への普及に寄与するものである。

(2) プロジェクトサイト/対象地域名

ブラジル、Model States（サンパウロ州、ミナスジェライス州、リオグランデドスル州）<sup>2</sup>、Intensive Dissemination States<sup>3</sup>

(3) 本事業の受益者（ターゲットグループ）

法務省国家公共保安局（SENASP）、  
サンパウロ州警察（PMESP）、ミナスジェライス州警察（PMMG）、リオグランデドスル州警察（BMRS）、他州警察の地域警察担当部門

(4) 事業スケジュール（協力期間）

2015年1月～2017年12月を予定（計3年間）

(5) 総事業費（日本側）

約2億円

(6) 相手国側実施機関

法務省国家公共保安局（SENASP）、サンパウロ州警察（PMESP）、ミナスジェライス州警察（PMMG）、リオグランデドスル州警察（BMRS）

(7) 投入（インプット）

1) 日本側

- 長期専門家派遣【36M/M×2名】
  - ・ チーフアドバイザー/地域警察
  - ・ 業務調整/普及計画
- 短期専門家派遣
  - ・ 地域警察
  - ・ その他、必要に応じ。
- 本邦研修
  - ・ 地域警察

2) ブラジル国側

---

<sup>2</sup> 本案件で、地域警察活動の質の向上を図る州。他州へ地域警察活動を普及していくための拠点/支援リソースとしての役割も担う。

<sup>3</sup> 本案件で、SENASPがModel Statesの協力を得て、より集中的に地域警察活動の普及支援を行う州。対象州は、各州における地域警察活動の実践状況等も踏まえ、プロジェクト開始後にJCCにて決定する。

- カウンターパート
  - ・ プロジェクトディレクター（SENASP 局長）
  - ・ アシスタントディレクター（サンパウロ州警察総司令官、ミナスジェライス州警察総司令官、リオグランデドスル州警察総司令官）
  - ・ プロジェクトマネジャー（SENASP 暴力予防社会プログラム導入及びモニタリング計画課長）
  - ・ アシスタントマネジャー（サンパウロ州警察 地域警察・人権部長、ミナスジェライス州警察 オペレーション支援部長、リオグランデドスル地域警察プログラム委員会のリオグランデドスル州警察代表者）
  - ・ プロジェクト担当（SENASP）
- 施設、資機材及びその維持管理
  - ・ 専門家の執務室（SENASP、サンパウロ州警察、ミナスジェライス州警察、リオグランデドスル州警察）<sup>4</sup>
  - ・ 会議室（必要に応じ）（SENASP、サンパウロ州警察、ミナスジェライス州警察、リオグランデドスル州警察）
- ローカルコスト
  - ・ ブラジル国内で実施する研修及びセミナーの経費
  - ・ SENASP、サンパウロ州警察、ミナスジェライス州警察、リオグランデドスル州警察の警察官の他州への出張旅費
  - ・ 専門家の他州への出張旅費
  - ・ 地域警察に関する研修・セミナー用/広報用の映像（DVD）の作成費用

## (8) 環境社会配慮・貧困削減・社会開発

### 1) 環境に対する影響/用地取得・住民移転

① カテゴリ分類：C

② カテゴリ分類の根拠：

本事業は、「国際協力機構環境社会配慮ガイドライン」（2010年4月公布）に掲げる影響を及ぼしやすいセクター・特性および影響を受けやすい地域に該当せず、環境への望ましくない影響は最小限であると判断されるため。

### 2) ジェンダー平等推進・平和構築・貧困削減

女性警察官の育成を通じ、女性被害者への警察行政サービスの向上が期待される。

### 3) その他

## (9) 関連する援助活動

### 1) 我が国の援助活動

特になし。

### 2) 他ドナー等の援助活動

<sup>4</sup> 専門家は、基本的にブラジリアに駐在する。

特になし。

#### 4. 協力の枠組み

##### (1) 協力概要

###### 1) 上位目標

ブラジル側関係機関によって、ブラジルの状況に適した地域警察活動が国内に普及される。

###### 【指標】

州の状況に適した地域警察活動を促進するための具体的な取り組みが、ブラジル国内の全ての州で開始される。

###### 2) プロジェクト目標

ブラジル側関係機関で自立かつ継続的に地域警察活動を普及する体制が構築される。

###### 【指標】

州の状況に適した地域警察活動を促進するための具体的な取り組みが、Intensive Dissemination States で開始される。

###### 3) 成果

- ① ブラジル国内における地域警察活動の普及を促進するために、SENASP の情報収集・管理能力が強化される。
- ② 各州における地域警察の普及・強化に向けた取り組みを推進するための SENASP の能力が強化される。
- ③ サンパウロ州警察による地域警察活動が強化される。
- ④ ミナスジェライス州警察による地域警察活動が強化される。
- ⑤ リオグランデドスル州警察による地域警察活動が強化される。
- ⑥ ブラジル国内における地域警察活動の普及を促進するために、SENASP、サンパウロ州警察、ミナスジェライス州警察、リオグランデドスル州警察の効果的な支援実施能力が強化される。

#### 5. 前提条件・外部条件

##### (1) 前提条件

- ・ 地域警察の普及に関する政策が変更しない。
- ・ サンパウロ州警察、ミナスジェライス州警察、リオグランデドスル州警察が、地域警察活動の普及及び質の向上に高い優先順位を置く。
- ・ サンパウロ州警察、ミナスジェライス州警察、リオグランデドスル州警察が、地域警察活動の普及のための他州への支援に関し、SENASP に協力する。

##### (2) 外部条件

- ・ SENASP が、地域警察活動の普及促進に必要な職員及び予算を確保する。
- ・ サンパウロ州警察、ミナスジェライス州警察、リオグランデドスル州警察が、地域警察活動の普及及び質の向上に必要な警察官及び予算を確保する。
- ・ 各州警察が、地域警察活動の普及に必要な警察官及び予算を確保する。

## 6. 評価結果

本事業は、ブラジル国の開発政策、開発ニーズ、日本の援助政策と十分に合致しており、また計画の適切性が認められることから、実施の意義は高い。

## 7. 過去の類似案件の教訓と本事業への活用

### (1) 類似案件の評価結果

- ① ブラジル連邦共和国「地域警察活動プロジェクト」では、長期専門家の人数が少ないプロジェクトにおいては、プロジェクトの意思決定や情報共有、プロジェクト管理について、カウンターパート、JICA が参加する形で、スムーズで透明性の高いプロジェクト管理を行えるよう体制や方法を検討する必要があるという教訓が得られている。
- ② ブラジル連邦共和国「交番システムに基づく地域警察活動普及プロジェクト」では、地域警察の国家コーディネーションを担当する組織がカウンターパート機関であることから、プロジェクトで得られた効果のブラジル国内での展開を円滑に進めることができたという教訓が得られている。

### (2) 本事業への教訓

- ① 本事業ではカウンターパート機関が4つあることから、合同調整委員会 (Joint Coordinating Committee) の下に技術委員会 (Technical Committee) を設置し、カウンターパート機関の間の調整・連絡や、各ワーキンググループにおける活動状況の共有等を円滑かつ適切に行うことを目指す。
- ② 本事業においても、SENASP をカウンターパート機関とすることで、地域警察活動のブラジル国内への普及・定着の効果的な実施を目指す。

## 8. 今後の評価計画

### (1) 今後の評価に用いる主な指標

4. (1) のとおり。

### (2) 今後の評価計画

事業開始3ヶ月	ベースライン調査
事業終了3年後	事後評価

以上